
バレット学園日記！！

ミロンド2

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バレット学園日記！！

【Nコード】

N0420Z

【作者名】

ミロンド2

【あらすじ】

ミロンドの引き続きのミロンド2！！

色違いピカチュウと超人的なツタージャ達がおこす、四正学園での生活。

この学校ではスキルを育てるといったが…？

第4話 混合色（ミックスカラー）（前書き）

若干オリジナリティーが入ってますよ。

ラック「若干か？」

うん。：ところでバレットは？

ラック「あいつは：それよりこの作品1～3話目がみたい人はバレット学園日記をどうぞ！」

あいつより宣伝かい！

ラック「ああ、そうさ。」

第4話 混合色（ミックスカラー）

俺は今ラックと散歩中だ。…というよりも連行に等しい。だって荷物持ちだもん。

ラック「あー買った買った♪」

バレット「それよりも早く帰ろうぜ。門限過ぎるぞ。」

俺達が通っている…というか住んでる学校は外出は自由だが6…30には帰らなくてはいけないのだ。

ラック「んーそうだね。そろそろ戻ろう…

あれ？」

バレット「ん？どうした？」

ラックの目線の向こうには不良とその不良に囲まれている…ヒコザル？

不良「おうおう、兄ちゃん少しでいいんだ金くれ金！」

ヒコザル「も、持ってません…」

不良「じゃあ金持ってこいや！！」

バレット「どうする？ラック」ラック「てめーらあ！弱い者いじめすんなやあ！」

あー…バカ…

不良1「おう？誰だ？お前？」

ラック「ツタージャ。」

不良2「見りゃわかるわ！んなこと！」

不良3「名前はなんだあ？」

ラック「ラックだよ。ちなみにあそこのピカチュウが僕の友達バレット。」

バカあああああつつつ！！

不良4「おうおう兄ちゃんもこっちこいや」

ああ…他人の振り作戦失敗…

バレット(おい!どうすんだよ!こいつら)
ラック(ん?ぶちのめす。)

バレット(できんのかあ?)

ラック(まあまあここは僕にまかせて!)

不良1「こそこそ何しとんじゃあ!!」

不良1、2、3、4は一気に襲いかかって来た。…全員炎タイプじゃない!!

バレット「ラック!危ない!!」

土煙がたった。土煙が晴れると…

バレット「……………!?!」

そこには無傷のラックと倒れた4人の不良

バレット「ラック!大丈夫!?!」

ラック「ん?ああ、大丈夫だよ。」

しかし…炎の攻撃は直撃だったはず……………

…!もしや!!

ラック「うん、スキル使ってみた。」

バレット「具体的にどんなの?」

ラック「タイプを換えるスキル。…んーどんな名前にしようかな」
…」

なるほど。草タイプを水タイプにでもすれば効果は今ひとつだ。…
それよりも

バレット「大丈夫?」

ヒコザル「うん、大丈夫。ありがとう、えーと…」

バレット「バレットだよ。」

ループ「ありがとう、バレット。あ、僕は

ループ。ところで…」

バレット「ところで?」

ループ「もしかして四正学園の人?」

あ、四正学園って俺達がすん(r y

バレット「うん、どうしくr u b y > < r b > ラック「混合色

< / r b > < r p > (< / r p > < r t > ミックスカラー < / r t
> < r p >) < / r p > < / r u b y > で決まり! 」

バレット「ああ、うん…えーとそれで？」

ループ「門限まであと10分 (^ o ^) / 」

最後まで聞かず、無我夢中で走った。

学園に着いたのは門限5分後。めっちゃ怒られた…んだけど、ラッ
クはなぜか門限前に

帰ってたらしい。…おかしいだろっ!!

第4話 混合色（ミックスカラー）（後書き）

ラック「作者く…いないなあ〜じゃおわりだね。」

ちょ？！いますけど待って！あ！あ—————プツツ

第5話 「不幸に叩き落とす悪魔と幸運に導く天使」 (テスト) の恐怖 (前書き

ラック「題名凝ってるね。」

いやーそんな感じじゃん？

ラック「んー僕は天使の方かな」

んまーそこは本文で！！

リース「俺も久しぶりだぜ！！」

ラック「俺と作者（仮）の所を！」

…仮？

第5話 「不幸に叩き落とす悪魔と幸運に導く天使」（テスト）の恐怖

ここは四正学園。この1―2では…

リース「あゝ3日後テストだ。点数悪い奴は補習だからな。」

バレット「ちよつと待て!!」

リース「なんだ？変色鼠。」

バレット「鼠言うな！それより3日後って

なんでそんなギリギリに!!」

リース「あ？連絡ミスだ。じゃあな」

リースは教室を出て行く。…すると

ハクア「ねえ。一緒にテスト勉強しない？僕、成績悪いし…」

バレット「え？あ、ああいぜ。」

実は言うとなんか成績悪いんだか…

ハクア「よかった。ラックも呼んだから！さんポケ寄れば文殊の知恵っていうし！」

……え？ラック？

バレット「ラック…呼んだの？」

ハクア「…？うん、そうだけど？」

やばい。生きて還れそうにない！

ラックは成績は良い方…というか完璧だ。

だから一度ラックと一緒に勉強したことあるんだが……

バレット「ごめん！やっぱ無理ーラック

「もう一度言ってごらん？」

バレット「だから行けな…うおっ！」

ラック「行けないなら逝かせてやる。今死ぬかここで死ぬか…どっちがいい？」

強制連行＼（＾o＾）／

ラック「だから何故x $\parallel$ 4, y $\parallel$ 3なのに56になんだよ!!」
ハクア「だってやり方…」

ラック「—2xなら—4 $\times$ 4! 4 $\times$ 4すんな!」

俺達はラックの「暗闇に逃げ場なし」(きょうせいべんきょう)を
させられてる。

え? かつこ悪い? やっぱり?

ラック「ごたごた言ってるねえーではよおやらんかい…」

バレット「Yes I do!!」

俺は英語に取り掛かる。……えーと

“Did you studied English?”を訳せ?
えーと…didだから疑問系で過去系だろ…

Englishは英語…だから

“あなたは英語を勉強しましたか?” だな!
よし! 楽勝! 次いくぞー!

“I just finished reading this
book.”

はあああああつつつ? ? ? ?

ラック「そんなのも訳せないのか?’

バレット「いや! 無理です!’

ラック「はあ…: “just”は“たった今”で

“finished”は“終わった”。だから

“私はたった今この本を読み終えました”

おおお。でも…

バレット「これ…習ってないよな。」

ハクア「うん。そうだよね…」

ラック「おしゃべりはそこまでだ。さあはじめるぞ: 「これは地獄

絵図」(イツツ ヘル タイム)!!」

ギヤアアア……

結果はこうなった。

国語…56点

数学…48点

英語…62点

社会…65点

理科…87点

ポケ学…65点

順位…98人中82位

ラックは相変わらずオールパーフェクト。

ハクアは大体70点位だったらしい。

そしてリースの最後の一言。

リース「80点以外補習な。今基準決めたけど。」

オワタ＼（＾Ｏ＾）／

第5話 「不幸に叩き落とす悪魔と幸運に導く天使」 (テスト) の恐怖 (後書き

ラック「僕の“隠蔽計画” (パーフェクトミラージュプラン) に狂

いは無い! ……

よしっ! 終わり! !」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0420z/>

バレット学園日記！！

2011年12月2日22時51分発行